

(3)急性脳梗塞患者における入院死亡率

分子：分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数

分母：レセプト病名から推計された医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期(発症 3 日以内)であった JCS1 桁の退院患者数。ただし、以下の場合を除外

- ・脳動脈の塞栓症による脳梗塞
- ・脳幹梗塞
- ・出血性梗塞

収集期間： DPC 以外病院：平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月

近年の薬物治療の進歩により、急性脳梗塞の救命率は大幅に改善されました。しかしながら、急性脳梗塞が死に至りうる重篤な疾患であることに変わりはありません。梗塞の部位や広がりにより、不幸にして死亡退院になることも稀ではありません。死亡率は、各施設がどのような重症度の患者さんを受け入れる施設であるかによって大きく変わりますので、必ずしもその多寡が当該施設の医療の質を反映するものではありません。しかしながら、各施設がその値を作成し、施設間の差をもたらしている要因が何であるのかを検証することで、さらなる医療の質向上を図ることができます。それがこの指標を作成し、公開している理由です。

指標 16：急性脳梗塞患者における入院死亡率

DPC以外病院	A	11.1%
DPC以外病院	B	36.8%
DPC以外病院	C	5.9%
DPC以外病院	D	0.0%
DPC以外病院	E	11.8%
DPC以外病院	F	0.0%
DPC以外病院	G	0.0%
DPC以外病院	H	4.8%
DPC以外病院	I	4.8%
DPC以外病院	J	0.0%
DPC以外病院	K	0.0%
DPC以外病院	L	4.3%
DPC以外病院 平均		5.3%

指標 16：急性脳梗塞患者における入院死亡率

